

2019年9月13～16日 雲ノ平

メンバー:山中

初めての裏銀座。初めての3泊4日のひとり山旅でした。ずっと天気がよかったので、歩いているときは暑くて、まだまだ夏らしさが残っていましたが、少しずつ紅葉が始まっていて、秋の訪れも感じました。

新宿から折立までの夜行直通バスを利用。バスは満席。予定より10分程遅れて折立に到着。車もたくさん止まっていました。

折立登山口から樹林帯を抜けたあとも、天気はすっきりしませんでしたが、徐々に晴れ間が出てきました。薬師岳が見えたときはほっとしました。

太郎平小屋についたときは、薬師岳、水晶岳、雲ノ平、黒部五郎などがずらーっと並んでいました。槍ヶ岳への北鎌尾根の一部も見えて感動しました。そのあとはガスってしまい、一時真っ白になりましたが、夕方からまた晴れてきて、いい眺めを楽しめました。初日は中秋の名月の日で、夕方に水晶岳の後ろからまん丸の月がぐんぐん登ってきて感動しました。その反対側では、真っ赤な夕日に染まる雲海がこれまたきれいでした。

6時頃、太郎平小屋から薬師沢小屋に向かう途中の、渡渉の橋がつるつるに凍っており、先を歩く登山者がいなかったら、滑ると思わず、沢に落ちていたかもしれません。命拾いしました。薬師沢小屋では、太郎平小屋で読んだ本を書いた大和景子さんにお会いできました。薬師沢小屋でのあれこれが漫画と一緒に書かれていて読みやすいです。とてもおもしろいのでぜひ読んでみてください。

薬師沢小屋から雲ノ平へは、岩がごろごろしており、急登でしたが、不思議なことに、登るのが楽しくて辛くはありませんでした。自分の好きなタイプの急登だったのかと思います。やはり楽しんで登るのが1番なんだと分かりました。

急登を登りきって、アラスカ庭園に出れば、もう最高。右も左も美しい稜線が見えます。雲ノ平山荘へ向かうまでの道中は、ゆったりとした道が続いており、周りには広大な自然が広がっていて、美しい山々が見えます。昨年3月に歩いたニュージーランドを思い出し、歩いていて嬉しくなりました。

折立から雲ノ平山荘の手前にあるアルプス庭園・祖母岳、雲ノ平から水晶岳方面へ向かう途中のスイス庭園や祖父岳もすごくよかったので、ぜひスルーせずに行ってほしいところです。スイス庭園からは薬師岳・水晶岳はもちろん、立山の山々や高天原小屋も見えます。鷲羽岳・水晶岳を登ったら100名山達成するおばちゃんに会いました。祖母岳・祖父岳からは360度素晴らしい眺め。雲ノ平山荘で働く友人の話では、高天原方面へ向かう奥ノ平も薬師岳がどーんと見えて素敵なところだそうです。

雲ノ平山荘は、この日は2人で布団1枚でした。初めての体験でしたが、同室者の方々がちゃんとまっすぐ寝てくださっていて、私の場所も残っていました。(雲ノ平山荘で働く友人に会いに行ったので、20時頃まで皿洗いのお手伝いをし、小屋の方々と夕食をいただいたので、寝床に入るのが遅くなったのです。)食事も4回に分けていて、スタッフは大忙し。こんなことはめったにないようですが。厨房の中で

お手伝いさせていただき、貴重な体験ができました。

山荘で働く友人に別れを告げ、いざ出発。

祖父岳を通過して、ひたすら稜線歩き。個人的には鷲羽岳の雲ノ平側に伸びる尾根が美しすぎて、見惚れていました。天気も良かったのと、連休の中日で渋滞にはならないでしたが、山頂にはたくさんの人が集まり、たくさんの人と道中ですれ違いました。

三俣蓮華岳からみる鷲羽岳も、やはりかっこよかったです。ずっと槍ヶ岳に見守られて歩いたので、なんだか槍ヶ岳の庭を散歩しているような気分になりました。双六岳近辺はだだっ広く、ケルンを目印に歩きました。双六小屋のキャンプ場も 70 張くらいテントが張っており、布団も 3 人で 2 枚とのことでした。(たまたま部屋の登山客がキャンセルとなり、私たちは 1 人 1 枚使えました)

最終日、樅沢岳からの御来光を期待しましたが、ガスはきれず残念な結果でした。が、双六小屋への帰り道で雷鳥を間近で見ることができました。今回の山旅では 2 回目の雷鳥でした。ガスってしまっても、諦めないでよかったです。

双六山荘からの下りは、槍ヶ岳や穂高の稜線を横に歩く気持ちのいい道でした。

鏡平山荘で宇治金時のかき氷を食べました。朝の 8 時でしたが、こんなおいしいかき氷は食べたことがない！くらいおいしいかき氷でした。

かき氷を食べてパワーアップし、さくさく下山。下山中に、山頂や小屋で会った人との再会とお別れをしました。西穂高に行ることがなかったので、バスの時間とお風呂に入ることを考えて、11 時台までに下山できたら行ってみようと考えていました。わさび平小屋をスキップしてひたすら下ったおかげで、思ったより早く下山できたので、西穂高へ。

ロープウェイ駅でザックの重さを測ったら、13kg くらいありました。初日は水を 3L くらい背負ったので、意外と頑張ったなあーと思い、同時に次はテントだ！と思いました。

ロープウェイの時からガスはあり、結局西穂高独標でも真っ白で残念でした。西穂高独標までは想像以上に岩岩の道で、雲ノ平とは違って楽しめました。

下山後、以前所属していた山岳会のメンバーに遭遇。槍ヶ岳に行っていたそうで、頂上まで 2~3 時間待ちだったとのこと。こうして山で会えるのは嬉しいものです。

平湯の森では、帰り際にこちらで働く 70 歳代のおばちゃんと立ち話。私の歩いたコースを、何十年前にも前に歩いたことがあるよと。座り仕事からお風呂で働くようになって、日々体が鍛えられているんだとか。また、笠ヶ岳に登ったときに、水が足りず汚い雪で水を作ったとのことで、水の大切さを教えていただきました。近々 100 周年を迎える穂高岳山荘に登るのを目標にしているそうです。私もおばちゃんみたいに、ずっと山に登り続けたいなと思ったのでした。

素晴らしい天気、山、人との出会いに恵まれた忘れてたくない大切な 3 泊 4 日になりました。

【コースタイム】

1日目:19:58 茅野駅～22:07 新宿駅～22:30 新宿都庁バス乗り場 23:00～6:53 折立 7:16～8:05 アラレちゃん看板～8:35 三角ベンチ 8:46～9:28 新しいベンチ 9:47～10:08 五光岩ベンチ～10:58 太郎平小屋

2日目:5:08 太郎平小屋～5:14 太郎山～5:57 第1 渡渉～6:36 左俣出合～7:32 薬師沢小屋 7:42～9:20 アラスカ庭園 9:42～10:23 祖母岳～10:50 雲ノ平山荘 11:21～スイス庭園～12:52 祖父岳 13:10～14:23 雲ノ平山荘

3日目:6:20 雲ノ平山荘～7:22 祖父岳 7:31～8:04 岩苔乗越分岐～8:14 ワリモ北分岐 8:18～9:07 鷲羽岳 9:25～10:34 三俣蓮華山荘 10:46～11:36 三俣蓮華岳 12:00～13:08 双六岳 13:13～13:50 中道分岐～14:14 双六小屋

4日目:4:06 双六小屋～4:30 樅沢岳 5:40～6:03 双六小屋 6:30～7:49 鏡平山荘 8:02～9:38 わさび平小屋～9:47 笠ヶ岳との分岐～10:25 ロープウェイ温泉駅～11:05 ロープウェイ西穂高口駅～12:00 西穂山荘 12:06～12:52 西穂高独標～13:40 西穂山荘 13:50～14:42 ロープウェイ西穂高口駅～15:55 ロープウェイバス停～16:28 平湯温泉 17:50～19:03 松本バスターミナル～19:35 松本駅～20:22 茅野駅